八戸港の災害復旧状況について

三八県土整備事務所　八戸港管理所

国土交通省 東北地方整備局
八戸港湾・空港整備事務所

青森県 県土整備部
Land and Infrastructure Dept. Aomori Prefectural Government
三八県土整備事務所
八戸港管理所

八戸港管理所では、令和７年１２月８日の青森県東方沖地震で被害のあった港湾施設について、工事の復旧状況を定期的に紹介します。





地震の概要

令和７年１２月８日 ２３時１５分ごろに発生した青森県東方沖地震は、マグニチュード７.５、震源の深さ約５５㎞、青森県八戸市で最大震度６強の揺れを観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度６弱～１の揺れを観測しました。また、大平洋沿岸では津波警報が発令され、最大で７０㎝程度の津波も観測されました。

八戸港の被害概要

八戸港に近い観測所は２箇所あり、八戸市湊町では震度５強の揺れを、八戸市内では震度６弱の揺れを観測しました。

この地震による被害の特徴として、一部の港湾施設で液状化が発生し、段差や沈下による被害が発生しました。

液状化による被害箇所は、

・八太郎２号埠頭　国際コンテナターミナル（拡張部）
・河原木１号埠頭　Ｂ岸壁エプロン
・臨港道路　河原木１号埠頭３号線
・フェリーターミナル（所管：青森県フェリー埠頭公社）

の４個所となっております。

このほかにも、岸壁や臨港道路、緑地帯の舗装などで、ひび割れや段差などの被害が発生しました。

主要港湾施設の復旧状況

国際コンテナターミナル（拡張部）

平成３０年に完成したコンテナターミナル拡張部（約１８,０００㎡）において、地震により液状化が発生、その影響で舗装面の沈下及び一部のケーソンに移動が生じました。
現在、以下の復旧内容で進めています。

・沈下、破損した舗装及び排水は原形復旧とし全面補修を行う。
・被災時に荷役の支障の原因となった段差及び不等沈下の範囲に対して液状化対策を行う。
・ケーソンの変状対策として、外周道路の片側車線を被災しにくい道路構造とする。
・荷役に影響がないよう復旧工事を進める。



被災時の状況


舗装の亀裂・沈下


段差


ケーソンの移動

令和８年７月２１日　現場の状況



・７月１日に舗装撤去及び仮舗装の工事契約
・ガードレールの撤去と外周道路の舗装撤去を開始

令和８年８月２８日　現場の状況



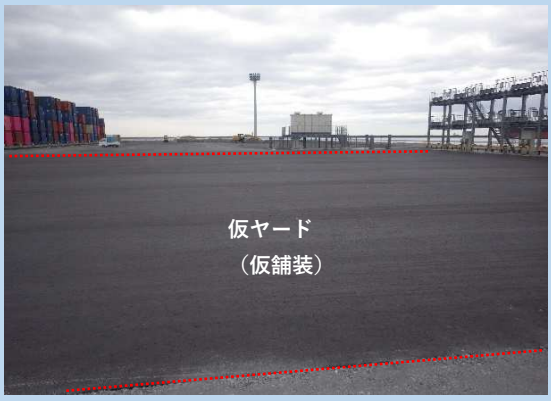
・外周道路の仮舗装を施工
・駐車場の舗装を施工
・コンテナヤード内の舗装撤去を継続

令和８年９月１６日　現場の状況



・コンテナヤード内の舗装撤去を継続

令和８年１０月１９日　現場の状況



・仮ヤードの舗装が完了
（荷出作業、洗浄作業、コンテナ置場として使用）

１１月～１２月の予定
・本復旧の設計を完成させます。
・本復旧工事（液状化対策）の発注を行います。

八太郎１号埠頭Ｅ岸壁野積場

地震による沈下及び舗装のひび割れが発生。応急復旧により、荷役は正常に行われていましたが、今年４月に舗装の陥没が発生しました。調査の結果、過去に使用していた荷役機械の基礎コンクリートの下に空洞が発生していたことが確認され、基礎コンクリートの撤去も行うこととしました。この工事は、国と県でそれぞれ復旧工事を進めておりましたが、令和８年１０月２９日に復旧が完了しました。



被災時の状況



・令和７年１２月２０日　応急復旧工事により舗装擦付を実施しています

令和８年７月２１日　現場の状況



・直轄工事の舗装復旧が開始
・県工事分は７月８日に工事契約

令和８年８月２８日　現場の状況



・沈下・段差が生じた既設アスファルト舗装を撤去し、陥没の原因となった基礎コンクリートの撤去を行っています

令和８年９月３０日　現場状況



・舗装を復旧中、あと少しで完成

令和８年１０月２９日　完成



八太郎４号埠頭Ｐ岸壁野積場

地震により沈下及び舗装のひび割れが発生。地震後の応急復旧により段差等が解消され、荷役は正常に行われていました。本復旧工事にあたっても、ＲＯＲＯ船等の荷役に影響がないように日程調整を行いながら進める必要があります。この工事は、国と県で復旧する工事となっています。



被災時の状況



・令和８年１月１５日　応急復旧工事により舗装擦付を実施しています

令和８年７月２１日　現場の状況



・直轄は舗装カッターに着手
・県は未着手

令和８年８月２１日　現場の状況



・直轄は舗装の撤去に着手
・県は８月５日に工事契約

令和８年９月３０日　現場の状況



・直轄は舗装撤去・復旧を段階的に実施
・県は８月５日に工事契約し側溝に着手

令和８年１０月１９日　現場の状況



・直轄は舗装の撤去・復旧を継続
・県は側溝の復旧を継続
・11/6に飛鳥Ⅲが寄港予定のため、現場作業を一時的に制限します。

八太郎３号埠頭　八太郎Ｎ岸壁エプロン

※エプロン：岸壁の端部（海との境）から２０ｍの幅の範囲

八太郎Ｎ岸壁は地震によりエプロン部に段差が発生しました。４月１日から国の補助金を受けて復旧工事に着手していましたが、令和８年９月１１日にコンクリート舗装の復旧工事が完了し、八太郎Ｎ岸壁の全面利用が可能となりました。



被災時の状況

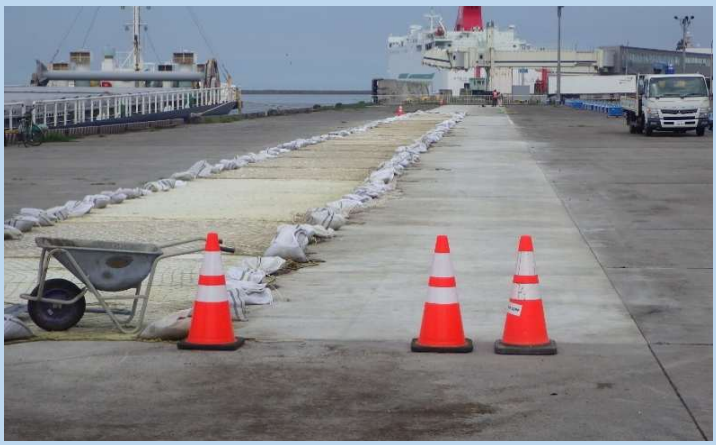




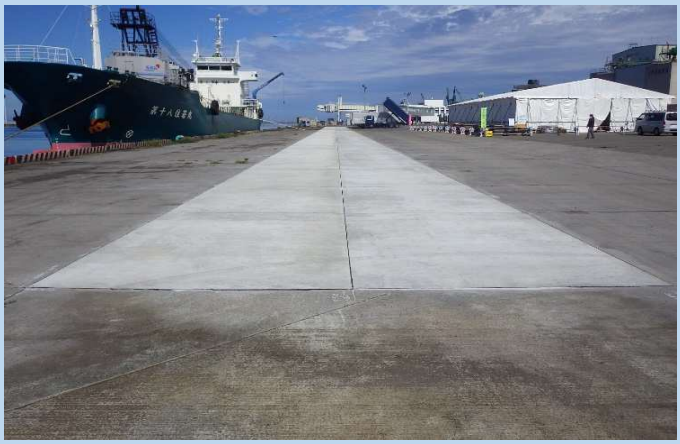
令和８年６月１日　現場の状況



令和８年７月２１日　現場の状況



令和８年９月１１日　完成

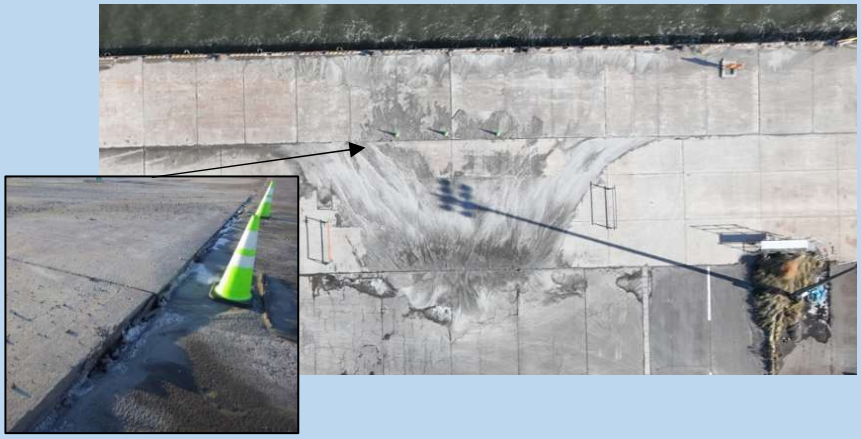


河原木１号埠頭Ｂ岸壁エプロン

地震によって液状化が発生し、土砂が噴砂しました。その影響でコンクリート舗装が持ち上がったため、舗装の下に空洞が生じ、舗装目地部に段差が発生しました。４月１日から国の補助金を受けて復旧工事に着手していましたが、令和８年９月１１日にコンクリート舗装の復旧工事が完了し、河原木Ｂ岸壁の全面利用が可能となりました。



被災時の状況



令和８年７月２１日　現場の状況



既設コンクリート舗装を撤去し、
路盤工の施工が完了。

令和８年８月２１日　現場の状況



コンクリート舗装の打設が完了し、
コンクリート養生中。

令和８年９月１１日　完成



臨港道路　河原木１号埠頭３号線

地震によって液状化が発生し、土砂が噴砂しました。その影響で道路の舗装と側溝が持ち上がり、段差が生じました。舗装をもとの状態に戻すため、４月１日から国の補助金を受けて復旧工事に着手しておりましたが、令和８年７月６日に復旧工事が完了しました。



被災時の状況



令和８年５月２９日　現場の状況



令和８年７月１５日　完成





その他の港湾施設の復旧状況は八戸港湾・空港整備事務所ホームページに掲載しています。

令和７年１２月８日発生青森県東方沖地震八戸港災害復旧状況－八戸港湾・空港整備事務所ホームページ

https://www.pa.thr.mlit.go.jp/hachinohe/180/2026062929/20260623085432.html

ＱＲコードから
ご覧いただけます。